JEUS WebAdminガイド

JEUS v8.0

Copyright © 2016 TmaxSoft Co., Ltd. All Rights Reserved.

Copyright Notice

Copyright © 2016 TmaxSoft Co., Ltd. All Rights Reserved.

45, Jeongjail-ro, Bundang-gu, Seongnam-si, Gyeonggi-do, 13613, South Korea

Restricted Rights Legend

All TmaxSoft Software (JEUS®) and documents are protected by copyright laws and international convention. TmaxSoft software and documents are made available under the terms of the TmaxSoft License Agreement and this document may only be distributed or copied in accordance with the terms of this agreement. No part of this document may be transmitted, copied, deployed, or reproduced in any form or by any means, electronic, mechanical, or optical, without the prior written consent of TmaxSoft Co., Ltd.

Nothing in this software document and agreement constitutes a transfer of intellectual property rights regardless of whether or not such rights are registered) or any rights to TmaxSoft trademarks, logos, or any other brand features. This document is for information purposes only. The company assumes no direct or indirect responsibilities for the contents of this document, and does not guarantee that the information contained in this document satisfies certain legal or commercial conditions. The information contained in this document is subject to change without prior notice due to product upgrades or updates. The company assumes no liability for any errors in this document.

このソフトウェア(JEUS®)マニュアルの内容とプログラムは、日本国の著作権法および国際条約によって保護されています。マニュアルの内容とプログラムは、TmaxSoft Co., Ltd.との使用許諾契約書の下でのみ使用することができ、マニュアルは使用許諾契約で許可されている範囲を除いては、配布または複製することができません。TmaxSoftの書面による事前の承諾を得ることなく、このマニュアルの全部または一部を電子的または機械的な方法を問わず、転送、複製、配布したり、または二次的著作物を作成する等の行為を一切禁じます。

このソフトウェアのマニュアルとプログラムの使用許諾契約は、いかなる場合においても、マニュアル及びプログラムと関連する知的財産権（登録の有無を問わず）を譲渡するものと解釈されず、TmaxSoftのブランド、ロゴ、商標等の使用権限を与えるものではありません。マニュアルは、情報を提供する目的でのみ提供しており、これに伴う契約上の直接的ないしは間接的な責任を負わず、マニュアルの内容は法律上もしくは商業的な特定の条件が満たされることを保証しません。マニュアルの内容は、製品のアップグレード及び修正により、その内容が予告なく変更されることがあり、内容上の誤りがないことを保証しません。

Trademarks

JEUS® is registered trademark of TmaxSoft Co., Ltd.

JEUS®は、TmaxSoft Co., Ltd.の登録商標です。

Java and Solaris are registered trademarks of Oracle Corporation and its subsidiaries and affiliates.

Java、Solarisは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の登録商標です。

Microsoft, Windows, and Windows NT are registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation.

Microsoft、Windows、Windows NTは、Microsoft Corporationの登録商標または商標です。

HP-UX is a registered trademark of Hewlett Packard Enterprise Company.

HP-UXは、Hewlett Packard Enterprise Companyの登録商標です。

AIX is a registered trademark of International Business Machines Corporation.

AIXは、International Business Machines Corporationの登録商標です。

UNIX is a registered trademark of X/Open Company, Ltd.

UNIXは、X/Open Company, Ltd.の登録商標です。

Linux is a registered trademark of Linus Torvalds.

Linuxは、Linus Torvaldsの登録商標です。

Other products and company names are trademarks or registered trademarks of their respective owners.

その他、記載されている会社名、製品名などは、各社の商号、商標または登録商標です。

The names of companies, systems, and products mentioned in this manual may not necessarily be indicated with a trademark symbol (TM, ®).

本マニュアルに記載されている会社名、システム名、製品名などには必ずしも商標表示(TM、®)を付記しておりません。

Open Source Software Notice

Some modules or files of this product are subject to the terms of the following licenses. : APACHE2.0, CDDL1.0, EDL1.0, OPEN SYMPHONY SOFTWARE1.1, TRILEAD-SSH2, Bouncy Castle, BSD, MIT, SIL OPEN FONT1.1

Detailed Information related to the license can be found in the following directory : ${INSTALL_PATH}/lib/licenses

この製品の一部ファイルまたはモジュールは、APACHE2.0、CDDL1.0、EDL1.0、OPEN SYMPHONY SOFTWARE1.1、TRILEAD-SSH2、Bouncy Castle、BSD、MIT、SIL OPEN FONT1.1のライセンスに準拠します。

文書情報

文書名: JEUS WebAdminガイド

発行日: 2016年10月14日

ソフトウェアバージョン: JEUS v8.0

ガイドバージョン: v2.1.1

目次

このガイドについて ..... **xiii**

第1章　紹介 **1**

1.1.　概要 1

1.2.　実行環境 1

第2章　画面構成 **3**

2.1.　環境設定 3

2.2.　ログイン 7

2.3.　メイン画面 8

2.3.1.　ヘッダー領域 9

2.3.2.　メニュー領域 12

2.3.3.　メイン領域 20

2.4.　付加機能 31

2.4.1.　オンライン・ヘルプ 31

2.4.2.　コンソール 32

2.4.3.　設定の変更と取り消し 33

2.4.4.　ロック機能 38

付録 A.　サイト・マップ **41**

索引 **53**

図目次

[図 2.1] SSL_WEBADMINの登録 7
[図 2.2] SSLの設定 7
[図 2.3] Server Listener Refの変更 7
[図 2.4] ログイン画面 7
[図 2.5] メイン画面 8
[図 2.6] メイン画面 - ヘッダー領域 9
[図 2.7] 環境設定 9
[図 2.8] メイン画面 - メニュー領域 12
[図 2.9] メニュー領域 - メイン・メニュー 13
[図 2.10] メニュー領域 - システム状態 14
[図 2.11] メニュー領域 - Read Onlyモード 14
[図 2.12] メニュー領域 - Read Onlyモード画面 15
[図 2.13] メニュー領域 - Runtime Infoモード 16
[図 2.14] メニュー領域 - Runtime Infoモードのサーバー選択 16
[図 2.15] メニュー領域 - Runtime Infoモード画面 17
[図 2.16] メニュー領域 - LOCK & EDITモード 18
[図 2.17] メニュー領域 - LOCK & EDITモード画面 18
[図 2.18] メニュー領域 - 運用マニュアル 19
[図 2.19] メニュー領域 - 運用マニュアルをもっと見る 19
[図 2.20] メイン画面 - メイン領域 20
[図 2.21] メイン領域 - JEUSのシステム状態 21
[図 2.22] メイン領域 - Resource Manager 23
[図 2.23] メイン領域 - ドメイン基本情報 23
[図 2.24] メイン領域 - オンライン・ヘルプ 24
[図 2.25] メイン領域 - Webコンソールの実行 24
[図 2.26] メイン領域 - ノード設定 24
[図 2.27] メイン領域 - モニタリング 25
[図 2.28] 共通機能 - History 25
[図 2.29] 共通機能 - Runtime Info 26
[図 2.30] 検索ワードの分類 27
[図 2.31] 共通機能 - ヘルプ 28
[図 2.32] 共通機能 - 詳細設定(1) 29
[図 2.33] 共通機能 - 詳細設定(2) 30
[図 2.34] 付加機能 - オンライン・ヘルプ 32
[図 2.35] 付加機能 - コンソール・コマンド画面 33
[図 2.36] 設定の変更 - LOCK & EDITモードへの切り替え 33
[図 2.37] 設定の変更 - LOCK & EDITモードへの切り替えの確認 34
[図 2.38] 設定の変更 - 設定内容の変更 35
[図 2.39] 設定の変更 - 変更内容のサーバー反映 36
[図 2.40] 設定の変更 - 設定反映後の結果メッセージ 36

[図 2.41] 設定変更の取り消し - 変更内容の取り消し 37
[図 2.42] 設定変更の取り消し - 設定前の状態に戻す 37
[図 2.43] ロックの取得 - user1のLOCK & EDITモード(user1がロックを取得した状態) 38
[図 2.44] ロックの取得 - user2のRead Onlyモード 39
[図 2.45] ロックの取得 - ロックの強制設定機能 39
[図 2.46] ロックの取得 - user2のLOCK & EDITモード(user2がロックを取得した状態) 40

表目次

[表 1.1]　実行環境 1

例目次

[例 2.1] WebAdminの設定：<<domain.xml>> 3
[例 2.2] 権限設定：<<policies.xml>> 3
[例 2.3] jeusadminによるWebAdminの開始 4
[例 2.4] jeusadminによるWebAdminの終了 4

このガイドについて

対象読者

本章は、JEUS®(以下、JEUS) WebAdminを利用してJEUSを管理し、アプリケーションをデプロイする機能に関する有用な情報が含まれています。また、WebAdminの各機能の概要について説明しているので、JEUS WebAdminを利用してJEUSの設定を管理するユーザーやアプリケーションのデプロイヤーに特に有用です。

本書は、WebAdminの基本構成と使用方法について説明しています。

前提知識

JEUSの基本的な使用方法と製品を理解するには、以下のガイドについてあらかじめ熟知することをお勧めします。

- JEUS 紹介ガイド
- JEUS インストール＆スタートガイド
- JEUS ドメインガイド
- JEUS サーバガイド

本書のすべてのサンプルと環境構成は、UNIXスタイルに準拠します。Microsoft Windows™(以下、Windows)など他の環境で作業を行う場合は、次のような事項を考慮してください。 たとえば、Windowsプラットフォームでは、ディレクトリー区切り子をUNIXスタイルのスラッシュ(/)からWindowsスタイルのバックスラッシュ(\)に変えて使用してください。また、環境変数もWindowsスタイル(%%)に変更して使用してください。 本書で触れているJEUS_HOMEは、JEUSがインストールされているディレクトリーです。

制限事項

本書の内容は、Java標準に準拠して作成されていますが、本書で触れているJava EEやJava仕様については詳しく取り上げていません。関連内容についてはJava関連ドキュメントを参照してください。

本書の構成

本書は、計2章と付録で構成されます。

- 「第1章 紹介」

  JEUS WebAdminについて紹介します。

- 「第2章 画面構成」

  JEUS WebAdminを起動および終了する方法とWebAdminの主な画面構成について説明します。

- 「付録 A. サイト・マップ」

  JEUS WebAdminのメニュー構造について説明します。

表記上の規則

表記	意味
<<AaBbCc123>>	プログラム・ソースコードのファイル名
<Ctrl>+C	CtrlキーとCキーを同時に押す
[Button]	GUIのボタン、メニュー名
太字	強調
「」、『』(鍵カッコ)	関連文書、あるいはガイド内の他の章および節の表示
「入力項目」	画面UI上の入力項目
ハイパーリンク	メール・アカウント、Webサイト
>	メニューの実行順
+----	下位ディレクトリー/ファイル有り
|----	下位ディレクトリー/ファイル無し
参考	参照/注意事項
注	注意事項
[図 1.1]	図の名前
[表 1.1]	表の名前
`AaBbCc123`	Javaコード、XMLドキュメント
`[ command argument ]`	オプション・パラメータ
< xyz >	「<」と「>」の間の内容は実際に使用される特定の名前または値で置き換えられる
|	構文の中の相互に排他的な選択項目の選択肢を示す 例) A|B: AとBのいずれかを選択
…	パラメータ、値、または他の情報が繰り返される
${ }	環境変数

システム要件

	要求事項
プラットフォーム	Solaris 9, 10, 11
	HP-UX 11.x, 11i, 11iV2
	IBM AIX 5L, 6L, AIX 7L
	MS Windows 2008, 2012, Vista, 7, 8
ハードウェア	最小2GB以上、推奨20GBのハードディスク容量
	推奨1GB以上のメモリー容量
JDK	JDK 7, JDK 8

関連文書

ガイド	説明
JEUS 紹介ガイド	JEUSサーバーについて全般的に紹介し、JEUSのアーキテクチャーを含む各構成要素について記述しています
JEUS インストール＆スタートガイド	JEUSについて紹介し、JEUSのインストールおよび開始方法について記述しています
JEUS ドメインガイド	ドメインの概念と構造を理解するための基本的な内容と、構成サーバーの種類と役割について記述しています
JEUS サーバガイド	JEUSシステムおよびサーバーの概要とシステムの管理方法について記述しています
Web Webエンジンガイド	JEUS Webエンジンの管理方法、Java EE WARアーカイブとサーブレット/JSPの管理およびデプロイ方法について記述しています
JEUS EJBガイド	JEUS EJBエンジンおよびEJBモジュールのデプロイについて記述しています
JEUS アプリケーションクライアントガイド	Java EEクライアントとJEUS間の相互運用について記述しています
JEUS アプリケーション&デプロイメントガイド	Java EEアプリケーションをJEUSにデプロイするための様々な方法とツールについて記述しています
JEUS WebAdminガイド	JEUSのWeb管理ツールであるWebAdminを利用したJEUSの設定および制御、モニタリング、クラスタリング、リソースの設定および管理について記述しています

お問合せ先

Korea

TmaxSoft Co., Ltd.
45, Jeongjail-ro, Bundang-gu,
Seongnam-si, Gyeonggi-do, 13613
South Korea
Tel: +82-31-8018-1000
Fax: +82-31-8018-1115
Email: `info@tmax.co.kr`
Web (Korean): http://www.tmaxsoft.com
TechNet: http://technet.tmaxsoft.com

USA

TmaxSoft Inc.
101 North Wacker Drive, Suite 2014,
Chicago, IL 60606
U.S.A
Tel: +1-312-525-8330
Email: `info@tmaxsoft.com`
Web (English): http://www.tmaxsoft.com/us_en/home

Japan

TmaxSoft Japan Co., Ltd.
5F Sanko Bldg, 3-12-16 Mita, Minato-Ku, Tokyo, 108-0073
Japan
Tel: +81-3-5765-2550
Fax: +81-3-5765-2567
Email: `info@tmaxsoft.co.jp`
Web (Japanese): http://www.tmaxsoft.co.jp

China

Beijing TmaxSoft System Software Co., Ltd.
Room103, No.2 Huizhong Building, Seven Street Shangdi,
Haidian District, Beijing, 100085
P.R.China
Tel: +86-10-6298-8827
Email: `info@tmaxsoft.com.cn`
Web (Chinese): http://www.tmaxsoft.com/cn_en/home_cn_en

Brazil

Tmax Brasil Sistemas e Serviços Ltda.
Av. Copacabana, 177, sala 32~35 Empresarial 18 do Fortel
Alphaville Barueri, Sao Paulo, 06472-001
Brazil
Tel: +55-11-4191-3100
Fax: +55(11) 4191-3705 (extension#112)
Email: `info.bra@tmaxsoft.com`
Web (Portuguese): http://www.tmaxsoft.com/br_en/home_br_en

Russia

Tmax Rus L.L.C.
Leninsky prospekt, 113/1 (Park Place Moscow),
Office 318e, Moscow, 117198
Russia
Tel: +7(495)970-01-35
Email: `info.rus@tmaxsoft.com`
Web (Russian): http://www.tmaxsoft.com/ru_ru/home_ru_ru

Singapore

Tmax Singapore Pte. Ltd.
430 Lorong 6, Toa Payoh #10-02,
OrangeTee Building, 319402
Singapore
Tel: +65-6259-7223
Fax: +65-6258-7112
Email: `info.sg@tmaxsoft.com`
Web (English): http://www.tmaxsoft.com/sg_en/home_sg_en

United Kingdom

TmaxSoft UK Ltd.
215 Knyvett House, Watermans Business Park,
The Causeway, Staines TW18 3BAB
United Kingdom
Tel: +44-1784-895005
Email: `info.uk@tmaxsoft.com`
Web (English): http://www.tmaxsoft.com/gb_en/home_gb_en

Canada

TmaxSoft Canada, Inc.
2425 Matheson Blvd East, 8th floor,
Unit 824 Mississauga, ON, L4W 5K4
Canada
Tel: +1-905-361-2888
Email: `info.canada@tmaxsoft.com`
Web (English): http://www.tmaxsoft.com/ca_en/home_ca_en

Australia

TmaxSoft Proprietary Limited
L32, 101 Miller Street, North Sydney 2060
Australia
Tel: +91-9845-330-704
Email: `info.aus@tmaxsoft.com`
Web (English): http://www.tmaxsoft.com/au_en/home_au_en

India

TmaxSoft Technologies Private Limited
Sobha Alexander Plaza,3rd Floor,
16/2 Commissariat Road, Bangalore-560025
India
Tel: +91-9845-330-704
Email: `info.india@tmaxsoft.com`
Web (English): http://www.tmaxsoft.com/in_en/home_in_en

Turkey

TmaxSoft Co., Ltd. Turkey Liaison Office
Windowist Tower. Eski Buyukdere Cad. No:26,
Maslak 34467 Istanbul
Turkey
Tel: +90-544-553-6045
Email:`cslee@tmaxsoft.com`
Web (English): http://www.tmaxsoft.com/tr_en/home_tr_en

第1章 紹介

本章では、JEUS WebAdminの基本概念と実行環境について説明します。

1.1. 概要

JEUS WebAdmin(以下、WebAdmin)は、WebブラウザーでJEUSを管理するためのユーザー・インターフェースです。

WebAdminは、JEUSの全要素を包括的に管理できる機能と総合的なシステム管理のための統合インターフェースを提供します。システム運用者はWebAdminを利用してJEUSの各構成要素の状態をモニタリングおよび制御することができます。

本ガイドは、WebAdminの構成と基本機能で構成されます。

参考

各メニューの詳しい使用方法についてはオンライン・ヘルプを参照してください。

1.2. 実行環境

WebAdminを実行するためには、最低でも以下の環境を備えている必要があります。

[表 1.1] 実行環境

実行環境	説明
OS	すべてのオペレーティング・システムで使用可能
HTTPブラウザー	– Internet Explorer 10、11 – Firefox – Chrome
最適な解像度	横1024px

第2章 画面構成

本章では、WebAdminを起動または終了する方法と主要画面構成について説明します。各メニューの詳しい使用方法についてはオンライン・ヘルプを参照してください。

2.1. 環境設定

本節では、WebAdminを開始するための環境設定と権限設定、およびコンソール・ツールを使って起動、終了する方法について説明します。

環境設定

JEUSを起動するときにWebAdminを開始するには、domain.xmlファイルの**<enable-webadmin>**項目をtrueに設定します。

[例 2.1] WebAdminの設定：<<domain.xml>>

```
<domain xmlns="http://www.tmaxsoft.com/xml/ns/jeus" version="8.0">
   ...
   <admin-server-name>adminServer</admin-server-name>
   <system-clustering-framework>
      <heartbeat-address>230.30.1.1</heartbeat-address>
      <heartbeat-port>3030</heartbeat-port>
   </system-clustering-framework>
   <enable-webadmin>true</enable-webadmin>
   <servers>
   ...
</domain>
```

権限設定

WebAdminにログインするユーザーは、policies.xmlファイルに**AdministratorsRole**権限を設定する必要があります。

[例 2.2] 権限設定：<<policies.xml>>

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<policies xmlns="http://www.tmaxsoft.com/xml/ns/jeus">
    <policy>
```

```
        <role-permissions>
            <role-permission>
                <principal>jeus</principal>
                <role>AdministratorsRole</role>
                <classname>jeus.security.resource.RolePermission</classname>
            </role-permission>
        </role-permissions>
        ...
    </policy>
    ...
</policies>
```

コンソール・ツールを使用したWebAdminの開始と終了

WebAdminは基本的にDomain Administration Server(以下、DAS)と一緒に開始されるため、コンソール・ツール(jeusadmin)を使って下記のように開始または終了することができます。

- コンソール・ツールを使用したWebAdminの開始

  jeusadminで以下のように**enable-webadmin**コマンドを実行すると、WebAdminを開始できます。コマンドの詳細については、『*JEUS リファレンスガイド*』の「4.2.3.18. enable-webadmin」を参照してください。

  [例 2.3] jeusadminによるWebAdminの開始

```
[DAS]domain1.adminServer>enable-webadmin
WebAdmin was successfully enabled.
The configuration was changed.
================================================================================
+------------------------------------------------------------------------------+
|                                      result                                  |
+------------------------------------------------------------------------------+
| Successfully applied the configuration changes.                              |
+------------------------------------------------------------------------------+
================================================================================
```

- コンソール・ツールを使用したWebAdminの終了

  jeusadminで以下のように**disable-webadmin**コマンドを実行すると、WebAdminを終了できます。コマンドの詳細については、『*JEUS リファレンスガイド*』の「4.2.3.12. disable-webadmin」を参照してください。

  [例 2.4] jeusadminによるWebAdminの終了

```
[DAS]domain1.adminServer>disable-webadmin
WebAdmin was successfully disabled.
The configuration was changed.
================================================================================
+------------------------------------------------------------------------------+
```

```
|                                    result                                    |
+------------------------------------------------------------------------------+
| Successfully applied the configuration changes.                              |
+------------------------------------------------------------------------------+
================================================================================
```

WebAdminをSSLでサービス

ADMIN-HTTPリスナーのServer Listener Refに「SSL_WEBADMIN」リスナーを設定することで、SSLサービスを使用することができます。

1. 「SSL_WEBADMIN」にリスナーを登録後、SSLを設定します。リスナーの設定についての詳細は、『*JEUSサーバガイド*』の「2.3.2. リスナーの設定」を参照してください。

[図 2.1] SSL_WEBADMINの登録

[図 2.2] SSLの設定

2. ADMIN-HTTPリスナーのServer Listener Ref値を「SSL_WEBADMIN」に変更します。

[図 2.3] Server Listener Refの変更

2.2. ログイン

WebAdminを開始するための環境設定が完了すると、Webブラウザーに接続してログインします。

1. Webブラウザーのアドレス入力欄に下記を入力します。

```
http://IPアドレス:9736/webadmin
```

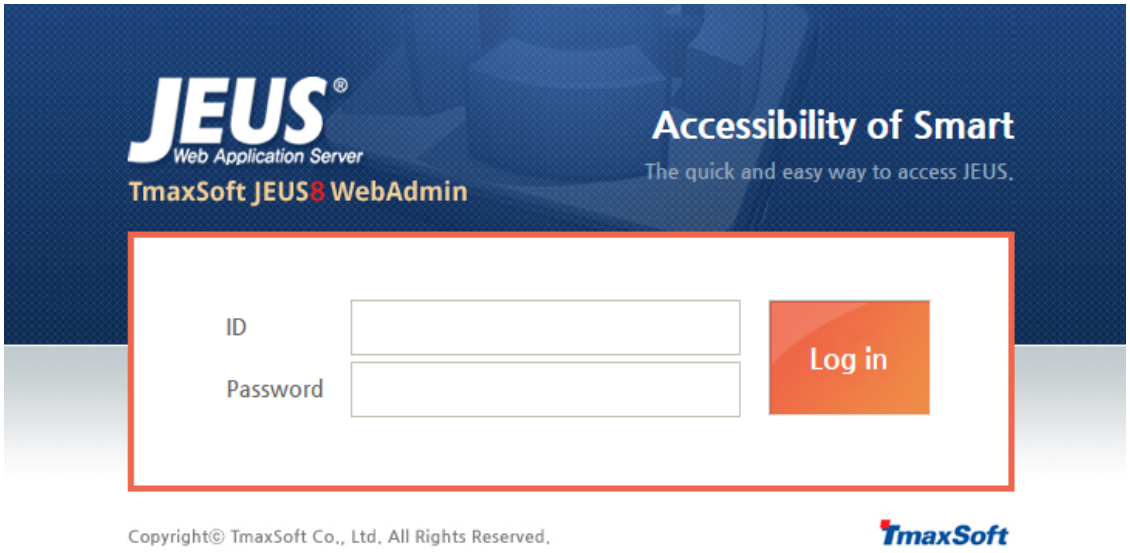
参考

Webブラウザーのアドレス入力欄に入力した「9736」は、Baseリスナーのデフォルトのリスン・ポート値です。

---

2. 以下のようにログイン画面が表示されたら、管理者IDとパスワードを入力した後、**[Log in]**ボタンをクリックします。

[図 2.4] ログイン画面



3. ログインに成功すると、メイン画面が表示されます。ログインに失敗した場合は、エラーメッセージが表示されます。WebAdminのメイン画面に関する詳細については、「2.3. メイン画面」を参照してください。

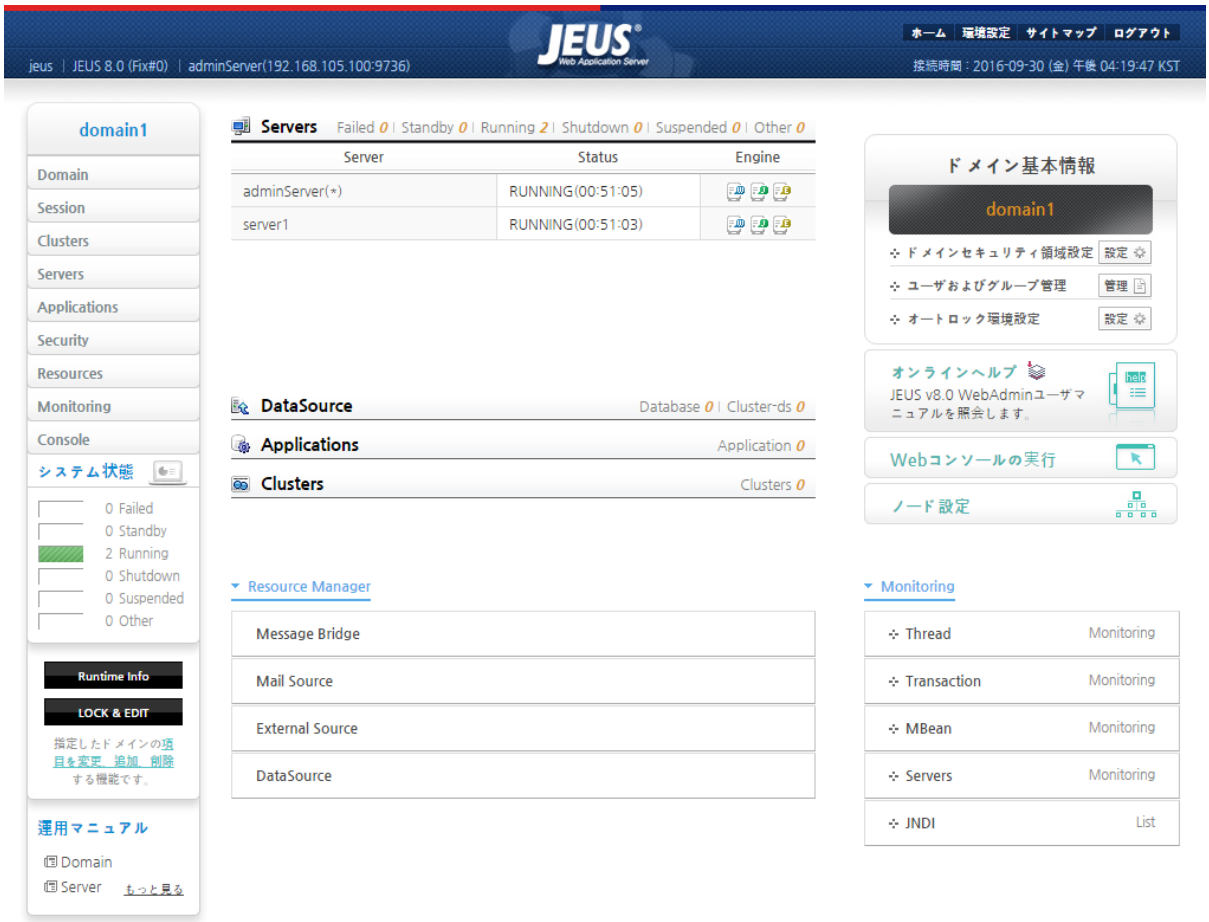
参考

現在JEUS 8のWebAdminは、Internet Explorer(以下、IE)10以上に最適化されています。古いバージョンのIEを使用している場合はアップグレードするか、またはFirefox、Chromeを使用することを推奨します。

2.3. メイン画面

ログインに成功すると、メイン画面が表示されます。メイン画面は、簡単なモニタリング機能とよく使われる機能にすぐにアクセスできるメニューで構成されています。他の画面でヘッダー領域の**[ホーム]**メニューをクリックすると、メイン画面に移動することができます。

[図 2.5] メイン画面



メイン画面は、次の3つの領域に分けられます。

- ヘッダー領域

  画面上部に位置し、基本的なメニューと情報を表示します。

- メニュー領域

  画面の左に位置し、メイン・メニューとシステム状態、モード変更などの機能を表示します。

- メイン領域

  メニューを選択して必要な項目を設定、制御、モニタリングする領域です。

2.3.1. ヘッダー領域

ヘッダー領域は画面の最上部に位置する部分であり、以下のように構成されています。

[図 2.6] メイン画面 - ヘッダー領域

- ホーム

  メイン画面に移動します。どのページからでも**[ホーム]**メニューを選択すると、メイン画面([図 2.5])に移動します。

- 環境設定

  [環境設定]を選択すると、次の画面に移動します。基本的に適用される必須事項を設定します。

  [図 2.7] 環境設定

以下は、環境設定の各設定項目についての説明です。

項目	説明
Auto Lock	自動ロック・モードを設定します。 この項目をチェックする場合、Read Only、LOCK & EDIT、Runtime Viewモードを使用できません。各モードについての詳細は「モード変更」を参照してください。 変更後に**[確認]**ボタンをクリックすると、変更事項がドメインに直ちに反映されます
Conceal Password	画面に表示されるパスワードをアスタリスク(*)で表示します。ただし、ログイン・パスワードには適用されません
Description	設定項目についての説明を表示するかどうかを指定します
Schema Validation	設定内容を変更後、**[確認]**ボタンをクリックするたびにスキーマの検証(Schema Validation)を実行するかどうかを指定します。 動的反映(Activate Changes)の際は基本的にスキーマの検証を行うため、一般的に使用しません
Delete Reference	相互参照項目が削除される場合、参照しているフィールドで項目を削除するかどうかを指定します。 特定の項目を削除するときに、相互参照項目がある場合は警告メッセージを出力して削除しないのがポリシーです。しかし、一部項目に対しては参照項目の削除をサポートしています
Configuration Change Detail	動的反映(Activate Changes)によって変更内容をドメインに反映したときに、反映結果を詳しく表示するかどうかを設定します
Table Sort	Servers、Clusters、Applications、Resourcesなど、メインメニューの下位テーブルの最初の列を基準にしてソートして表示します
Server Group Type	ログインのとき、デフォルト・サーバー・グループを指定します。この値を変更すると、次のログイン時に適用されます
Server Groups	サーバーで設定可能なグループ・リストを表示します
Page Search Cache	ページの検索結果をキャッシュするかどうかを設定します。検索ワードの前に「!!」を付けると、キャッシュを初期化することができます。(例: !! domain) 同機能を使用すると、検索結果に最新状態が反映されない場合があるので、使用には注意が必要です
Locale	サポートしているロケール・リストが表示され、選択することができます。 サポートするロケールがない場合は、何も表示されません

- サイトマップ

  このメニューは、メイン・メニューとその下位メニューを一目で確認できるメニュー構成を表示します。メイン・メニューと下位メニューについての詳細は、「付録 A. サイト・マップ」を参照してください。

- ログアウト

  WebAdminを終了するためにログアウトするメニューです。このメニューを選択すると、ユーザー・セッションが終了し、ログイン画面に移動します。

- ユーザー情報

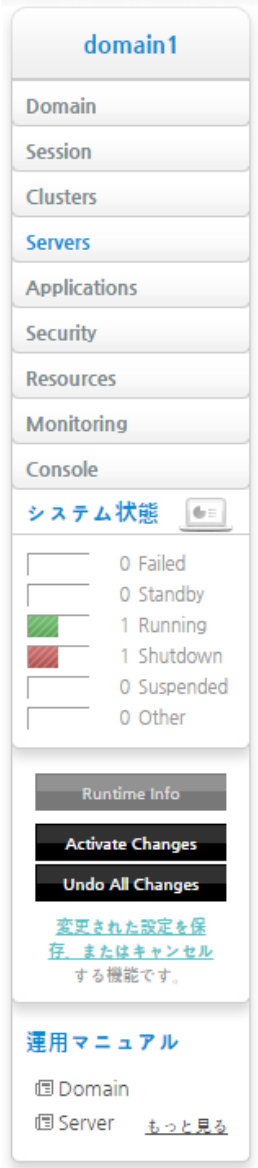
  ヘッダー領域には、以下のようなユーザー情報が表示されます。

ユーザー情報	説明
jeus	現在接続中のユーザーのアカウントが表示されます
JEUS 8 (Fix#0)	JEUSのバージョン情報が表示されます
adminServer(192.169.15.59:9736)	DASの名前とアドレスが表示されます
接続時間	ログイン時刻が表示されます

2.3.2. メニュー領域

以下は、メニュー領域の画面です。各メニューから詳細メニューおよび画面に移動できます。

[図 2.8] メイン画面 - メニュー領域



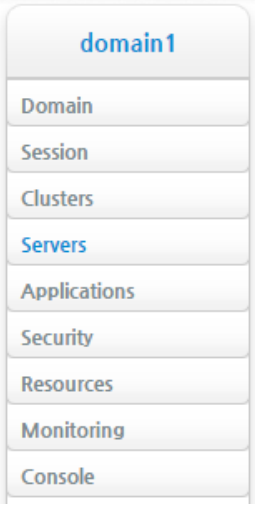
メニュー領域は、以下のように構成されています。

- メイン・メニュー
- システム状態
- モード変更
- 運用マニュアル

メイン・メニュー

メイン・メニューは、アクセスできる最上位メニューであり、以下のように構成されています。

[図 2.9] メニュー領域 - メイン・メニュー



以下は、メイン・メニューについての説明です。

メニュー	説明
[Domain]	JEUSの最上位の管理単位であるドメインの設定画面に移動します。 **[Domain]**メニューの設定項目とそれに関連する詳細は、『JEUS ドメインガイド』を参照してください
[Session]	JEUSのセッションに関する設定画面に移動します
[Clusters]	ドメイン内でクラスターを構成する場合、クラスターの設定画面に移動します。 **[Clusters]**メニューの設定項目とそれに関連する詳細は、『JEUS ドメインガイド』を参照してください
[Servers]	ドメイン内のサーバーの設定画面に移動します。 **[Servers]**メニューの設定項目とそれに関連する詳細は、『JEUS サーバガイド』を参照してください
[Applications]	ドメイン内で使用される複数のアプリケーションをデプロイする画面に移動します。 **[Applications]**メニューの設定項目とそれに関連する詳細は、『JEUS アプリケーション&デプロイメントガイド』を参照してください
[Security]	JEUSのセキュリティー関連事項の設定画面に移動します。

メニュー	説明
	[Security]メニューの設定項目とそれに関連する詳細は、『JEUS セキュリティガイド』を参照してください
[Resources]	アプリケーションで使用されるリソースの設定画面に移動します
[Monitoring]	サーバーで使用されるリソースをモニタリングする画面に移動します
[Console]	コンソール・ツールを実行します。コンソール・ツールについての詳細は、「2.4.2. コンソール」で説明します

システム状態

ドメインに登録されたサーバーの状態を表示します。各状態についての説明は、「2.3.3. メイン領域」を参照してください。

[図 2.10] メニュー領域 - システム状態

モード変更

設定の範囲(ドメインかサーバーか)によって、またドメインの設定である場合は、編集が可能かどうかによって、3つのモードをサポートします。ここでの設定はドメインの設定(domain.xml、accounts.xml、policies.xml)を意味します。

- **Read Onlyモード**

  Read Onlyモードは基本モードであり、ドメインの現在の情報を確認できます。設定を変更(修正および削除)することはできません。設定を変更するには、LOCK & EDITモードに切り替える必要があります。

  [図 2.11] メニュー領域 - Read Onlyモード

ボタン	説明
[Runtime Info]	Runtime Infoモードに切り替えます
[LOCK & EDIT]	LOCK & EDITモードに切り替えます

Read Onlyモードでは、以下のように各項目が無効になり、設定を変更することができません。

[図 2.12] メニュー領域 - Read Onlyモード画面

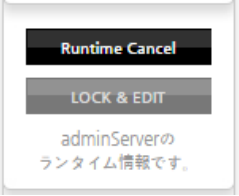
- **Runtime Infoモード**

各サーバーの現在情報を確認できるモードです。実際にサーバーに反映された設定情報を確認するときに有用です。Read Onlyモードで**[Runtime Info]**ボタンをクリックすると、モードが切り替わります。

メイン領域のRuntime Information( )が現在の画面に限って情報を確認できるのに対し、全体の設定情報を確認できます。メイン領域のRuntime Informationの詳細については「共通機能」を参照してください。

Runtime Infoモードに切り替わると、モード変更ボタンの構成が以下のように変わります。

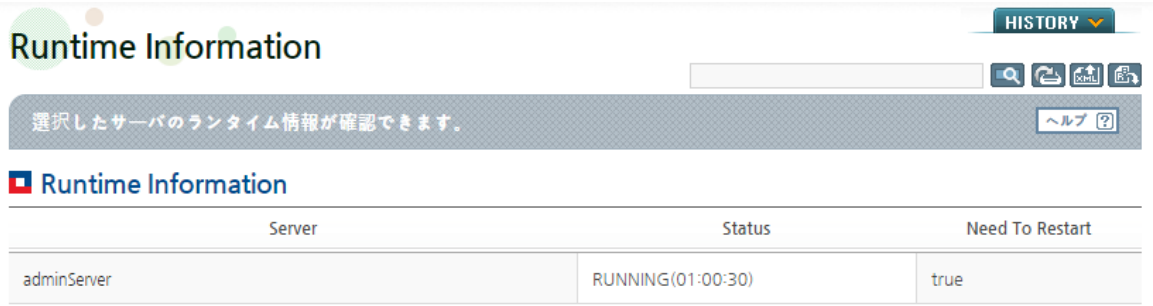
[図 2.13] メニュー領域 - Runtime Infoモード



ボタン	説明
[Runtime Cancel]	Read Onlyモードに切り替わります
[LOCK & EDIT]	LOCK & EDITモードに切り替えるボタンです。Runtime Infoモードでは無効になります

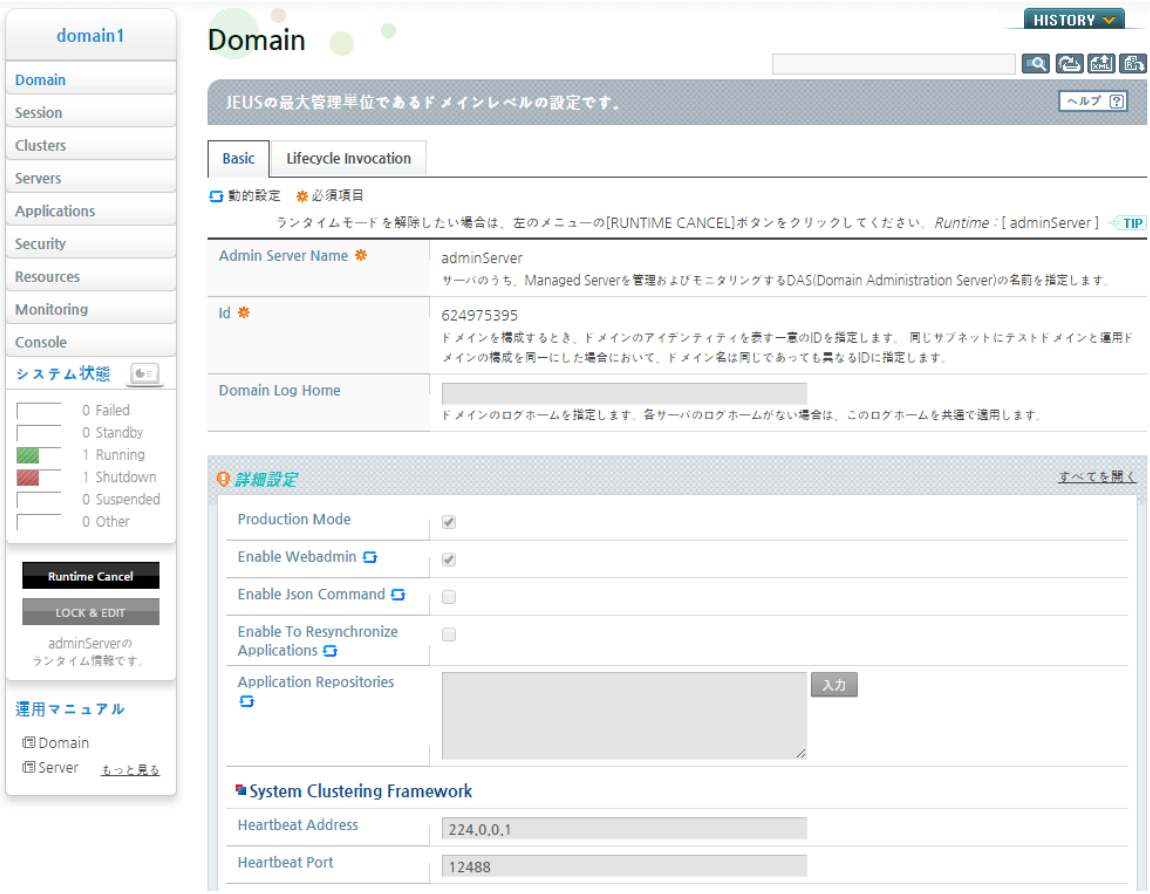
[Runtime Info]ボタンをクリックすると、以下のように動作中のサーバー・リストが照会されます。ランタイム情報を確認するサーバーを選択すると、そのサーバーの情報が表示されます。

[図 2.14] メニュー領域 - Runtime Infoモードのサーバー選択



Runtime Infoモードでは、以下のようにメイン画面が無効になった状態で表示され、設定の変更や取り消しが不可能になります。

[図 2.15] メニュー領域 - Runtime Infoモード画面



- **LOCK & EDITモード**

複数の設定を変更した後、変更した内容をドメインに一度に反映できるモードです。Read　Onlyモードで**[LOCK & EDIT]**ボタンをクリックすると、モードが切り替わります。

設定を変更し、変更した内容をドメインに反映するためには、設定を変更する前に必ず**[LOCK & EDIT]**ボタンをクリックしてLOCK＆EDITモードに切り替えた後に設定の変更を進める必要があります。また、設定を変更した後、設定内容をドメインに反映するには、**[Activate Changes]**ボタンをクリックします。LOCK＆EDITモードで設定を変更したり、設定内容を取り消す方法については、「2.4.3. 設定の変更と取り消し」を参照してください。

LOCK＆EDITモードでは、ロックを取得して設定を変更する間に、他のユーザーの変更を制限することができるため、現在のユーザーが変更した事項が正確にサーバーに反映されることを保証できます。ロック機能についての詳細は、「2.4.4. ロック機能」を参照してください。

LOCK & EDITモードに切り替わると、モード変更ボタンの構成が以下のように変わります。

[図 2.16] メニュー領域 - LOCK & EDITモード

ボタン	説明
[Runtime Info]	各サーバーの現在情報を画面に表示するボタンです。LOCK & EDITモードでは無効になります
[Activate Changes]	変更内容をすべてドメインに反映します
[Undo All Changes]	変更内容をすべて取り消して、LOCK & EDITモードに切り替える前の状態に設定を戻します

LOCK & EDITモードでは、以下のように各項目が有効になり、設定の変更が可能になります。

[図 2.17] メニュー領域 - LOCK & EDITモード画面

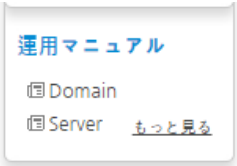
参考

LOCK & EDITモードから再びRead Onlyモードに切り替えるには、設定を変更した後に**[Activate Changes]**または**[Undo All Changes]**ボタンをクリックします。変更内容の反映、または変更内容の取り消しを聞くメッセージ・ダイアログ・ボックスが表示されます。**[確認]**ボタンをクリックすると、変更内容がサーバーに反映されるか、または取り消され、Read Onlyモードに切り替わります。

運用マニュアル

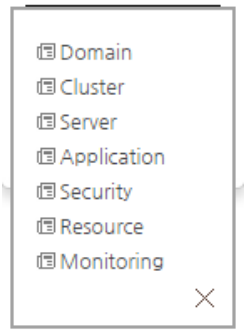
メイン・メニュー項目に関連するJEUSオンライン・マニュアルを提供します。

[図 2.18] メニュー領域 - 運用マニュアル



[もっと見る]をクリックすると、以下のようにメイン・メニューと同じ構成のメニューが表示され、各項目に関連するJEUSオンライン・マニュアルに容易にアクセスできます。

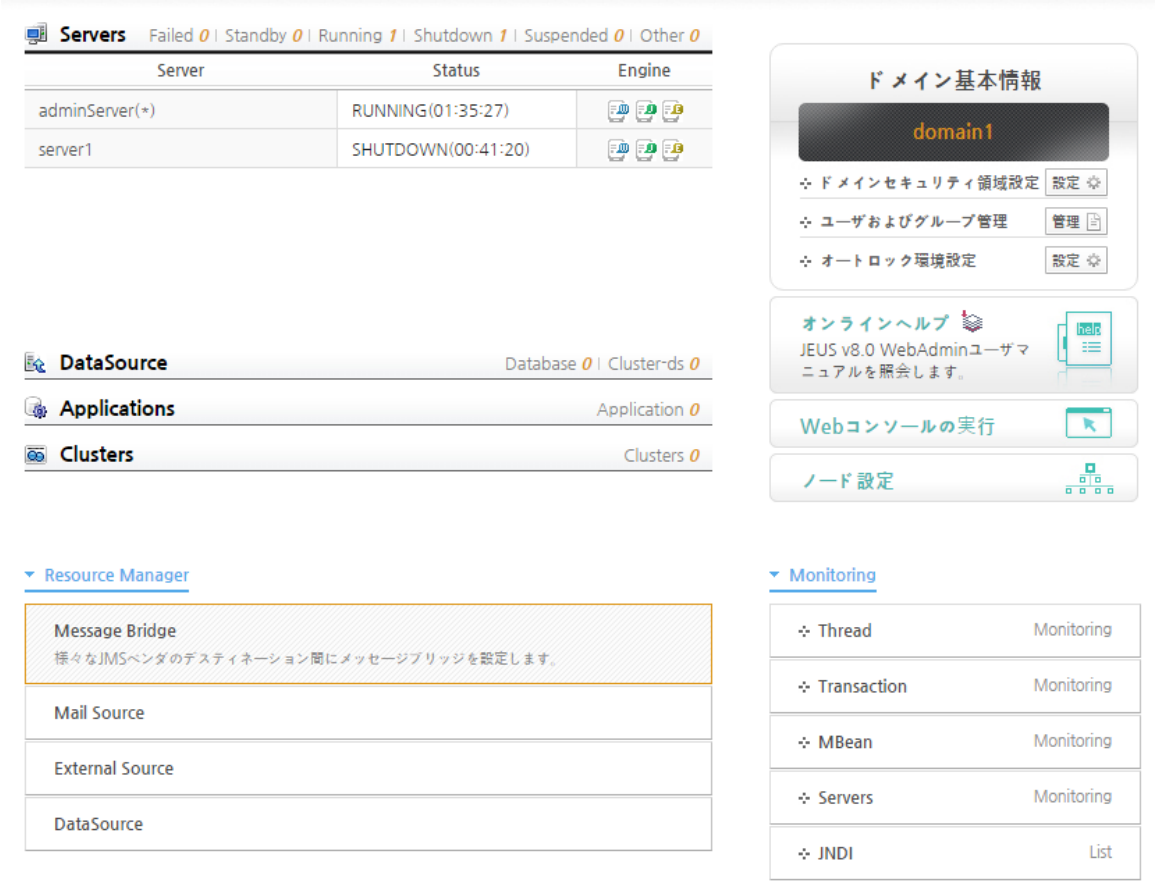
[図 2.19] メニュー領域 - 運用マニュアルをもっと見る



2.3.3. メイン領域

メイン領域は実際の作業領域です。

[図 2.20] メイン画面 - メイン領域



以下は、メイン領域の主要機能です。

- システム状態
- リソース・マネージャー
- ドメインの基本情報の設定と管理
- オンライン・ヘルプ
- Webコンソールの実行
- ノード設定
- モニタリング

- 共通機能

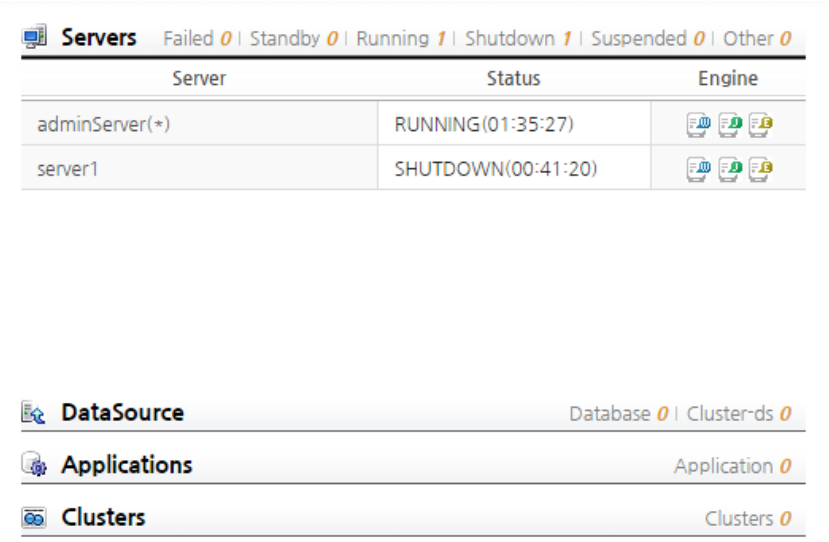
参考

本ガイドでは、共通機能と基本機能を中心に説明します。メイン領域の各メニュー画面についての詳しい説明は関連ガイドを参照してください。

システム状態

JEUSの現在のシステム状態を確認する領域です。サーバー、データソース、アプリケーション、クラスターの運用状態を表示します。

[図 2.21] メイン領域 - JEUSのシステム状態



以下は、各部についての説明です。

- **Servers**

  登録されたサーバーの状態を表示し、サーバーと各エンジンへのショートカットをサポートします。

  サーバーの状態は「**Status**」カラムに表示されます。各状態は以下のような意味を持ちます。

状態	説明
FAILED	Managed　Server(以下、MS)と一定時間の間継続して接続されず、DASがMSの異常終了を判断した状態です
FAILURE_SUSPECTED	MSと接続されず、DASがMSの異常終了を疑っている状態です
STANDBY	起動の際に登録されたアプリケーションの配布(distribute)に失敗したため、「RUNNING」状態に移らずに留まっている状態です。問題が発生したモジュー

状態	説明
	ルを修正して再開するか、またはstart -forceを実行してそのモジュールを無視してサービスします
RUNNING	サーバーの起動が完了し、サーバーが可能な状態です
SHUTDOWN	起動していない状態であるか、または正常に終了された状態です
SHUTTING_DOWN	サーバーを終了している状態です
SUSPENDED	管理者が意図的にすべてのアプリケーションを停止するためにSuspendを実行している状態です。この状態では、新たにアプリケーションを追加したくても、アプリケーションを配布することしかできず、開始することはできません
RESUMING	SUSPENDED状態で再び停止された(Stopped)すべてのアプリケーションのサービスを再開するためにResumeを実行している状態です
STARTING	サーバーを起動している状態であり、まだサービスの実行はできません
SUSPENDING	RUNNING状態でデプロイされたすべてのアプリケーションのサービスを停止するためにSuspendを実行している状態です
Other	FAILURE_SUSPECTED、SHUTTING_DOWN、RESUMING、STARTING、SUSPENDINGの状態をOtherで表示します

- **Data Source**

  登録されたデータソースとクラスター・データソースの状態を表示し、ショートカットをサポートします。

- **Application**

  登録されたアプリケーションの状態を表示し、ショートカットをサポートします。

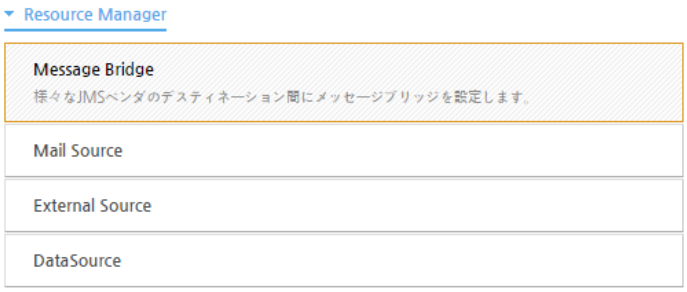
- **Clusters**

  登録されたクラスターの状態を表示し、ショートカットをサポートします。

Resource Manager

Resource Manager部は、**[Resources]**メニューの下位メニューで構成されます。目的のリソースをクリックすると、該当リソースの設定画面に移動します。

[図 2.22] メイン領域 - Resource Manager



ドメイン基本情報の設定と管理

ドメイン基本情報では、現在ドメインの設定画面に移動できます。

[図 2.23] メイン領域 - ドメイン基本情報

以下は、各部についての説明です。

- ドメイン基本情報

  現在運用中のドメインが表示されます。ドメイン名をクリックすると、該当ドメインの設定画面に移動します。メニュー領域の**[Domain]**の移動先と同じです。

- ドメインセキュリティ領域設定

  ドメインのセキュリティ設定へのショートカット・メニューです。**[設定]**ボタンをクリックすると、**Security Manager**画面に移動します。メニュー領域の**[Security]**の移動先と同じです。

- ユーザおよびグループ管理

  WebAdminのユーザーとユーザー・グループの管理のためのショートカット・メニューです。**[管理]**ボタンをクリックすると、**Accounts**画面に移動します。メニュー領域で**[Security]** > **[セキュリティ・ドメイン名]** > **[Accounts & Policies Management]**の移動先と同じです。

- オートロック環境設定

  自動ロックの環境設定へのショートカット・メニューです。**[設定]**ボタンをクリックすると、**環境設定**画面に移動します。環境設定画面についての詳細は、「2.3.1. ヘッダー領域」を参照してください。

オンライン・ヘルプ

JEUSユーザーのためのヘルプ画面に移動します。JEUSのオンライン・マニュアルを参照でき、FAQ、Q&A、ダウンロードの関連Webページへ移動できるポップアップ・ウィンドウが表示されます。オンライン・ヘルプについての詳細は、「2.4.1. オンライン・ヘルプ」を参照してください。

[図 2.24] メイン領域 - オンライン・ヘルプ

Webコンソールの実行

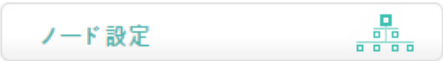
コンソール・ツールを実行します。メニュー領域の**[Console]**の移動先と同じです。Webコンソールについての詳細は、「2.4.2. コンソール」を参照してください。

[図 2.25] メイン領域 - Webコンソールの実行

ノード設定

リモート・サーバーのマシン情報を表示するノード設定画面に移動します。

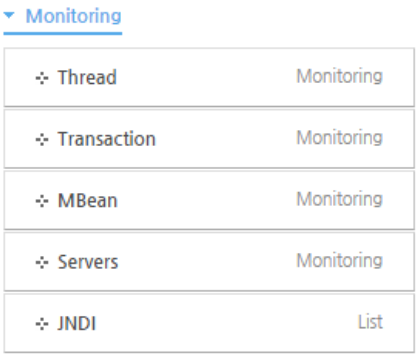
[図 2.26] メイン領域 - ノード設定



モニタリング

現在のサーバー状態を照会するモニタリング画面に移動します。移動先の各画面はメニュー領域の**[Monitoring]**の下位メニューの画面と同じです。

[図 2.27] メイン領域 - モニタリング



共通機能

メイン領域の共通機能は以下のとおりです。

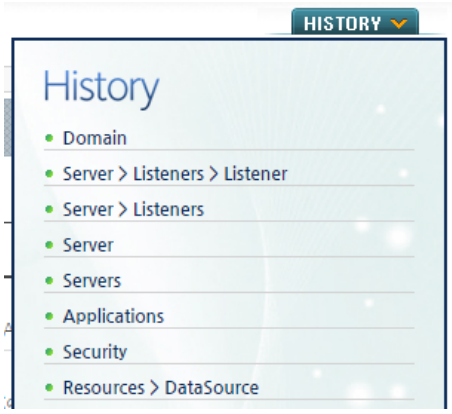
- **History**

  Historyリストでは、ユーザーが最近アクセスしたメニューを確認できます。

  [HISTORY]ボタンをクリックすると、ユーザーがアクセスしたメニュー・リストが表示され、もう一度クリックすると消えます。最大20個のメニューまで記録されます。各項目をクリックすると、該当メニューに移動することができ、頻繁にアクセスするメニューに容易にアクセスできます。

  最近アクセスしたメニューが一番上に表示され、同じメニューは一度だけ表示されます。**History**に記録された内容は、WebAdminをログアウトすると削除されます。

  [図 2.28] 共通機能 - History



- **Runtime Info/Export/Import/Show Backup Configuration/Search**

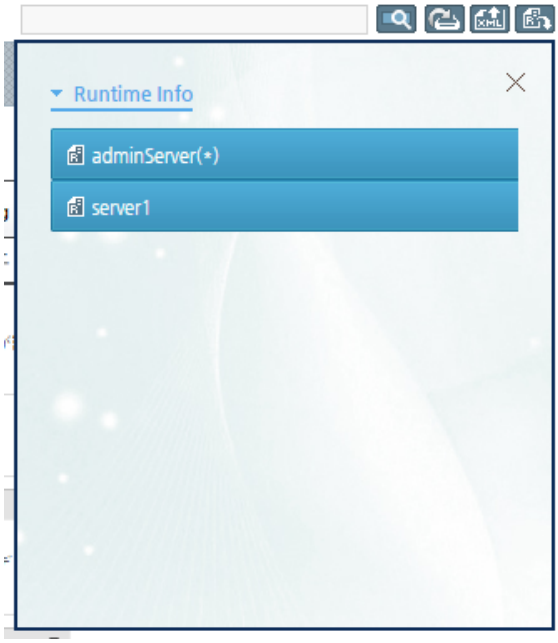
  設定画面の右上にアイコンで表示されます。サーバー設定情報の照会機能、ドメインのエクスポート/インポート機能、バックアップされたコンフィグの照会機能をそれぞれ提供します。すべてのメニューの設定画面で利用できます。

  以下は、各アイコンの機能についての説明です。

  – Runtime Info()

    Runtime Infoは、現在画面のサーバー別設定を別途の画面で表示します。設定画面の右側上部にと表示され、クリックすると、以下のように**Runtime Info**画面が表示されます。

    [図 2.29] 共通機能 - Runtime Info

    表示されたリストから目的のサーバーをクリックすると、ポップアップ・ウィンドウが表示され、現在画面に該当する該当サーバーの設定情報を確認できます。

  – Export Domain()

    現在ユーザーが照会しているdomain.xmlをXMLでダウンロードできます。

  – Import Domain()

    ユーザーが任意で変更したdomain.xmlを直接反映します。この機能はLOCK & EDITモードでのみ使用できます。

    インポートされたdomain.xmlを基準にすべての動的設定が反映されます。したがって、該当機能を使用する際には注意が必要です。

– Show Backup Configuration( )

バックアップされたコンフィギュレーションを表示し、ロールバック機能を提供します。ロールバック機能はdomain.xmlのバックアップに対してLOCK & EDITモードでのみ使用が可能です。

選択されたdomain.xmlを基準にすべての動的設定が反映されます。したがって、該当機能を使用する際には注意が必要です。

– Search( )

現在のページから入力したワードを含むページを検索します。ユーザーが設定に関連する特定のワードしか分からない場合、該当するワードを含むページを検索して簡単にアクセスすることができます。この機能は該当するワードを含むページを検索しますが、ページ内で検索したワードは表示しません。したがって、ページ内での検索はブラウザーの検索機能を使用してください。

[図 2.30] 検索ワードの分類

以下は検索語の分類についての説明です。

検索ワードの分類	説明
title	ページのメイン・タイトルであり、各ページ上部のタイトルが検索対象となります。たとえば、検索ワードの分類([図 2.30])にて、上部のタイトルである「Server」が検索対象となります

検索ワードの分類	説明
subTitle	メイン・タイトル以外のすべてのタイトルであり、主にフィールド名やテーブルのタイトルが検索対象となります。たとえば、検索ワードの分類([図 2.30])にて、テーブルのタイトルである「Node Name」が検索対象となります
tag	ページのアドレスを「/」で区切ったワードが検索対象となります。たとえば、検索ワードの分類([図 2.30])のようにアドレスが/servers/adminServerの場合、serversとadminServerが検索対象となります
description	ページ・メイン・タイトルの下にある説明が検索対象となります。たとえば、検索ワードの分類([図 2.30])にて、メイン・タイトルの説明である「ドメイン内で使用するJEUSサーバの詳細設定を定義します。」が検索対象となります
contents	descriptionを除いたすべてのワードが検索対象となります。たとえば、検索ワードの分類([図 2.30])にて、その他に該当する「node1」が検索対象となります

検索ワードの優先順位は、title > subTitle > tag > description > contentsで、検索結果が多い場合は上位10個の検索結果のみを優先順位順に表示します。

検索ワードに特殊文字や空白が含まれている場合は、二重引用符(" ")で囲んで入力します。

- **ヘルプ**

現在設定画面の項目と関連するオンライン・ヘルプをポップアップ・ウィンドウで表示します。

[図 2.31] 共通機能 - ヘルプ

- **[確認] / [再設定] / [削除]**ボタン

設定画面の項目を設定、変更、削除する場合に使用するボタンです。

ボタン	説明
[確認]	設定の変更を保存します。 ドメインには反映されません。ドメインに反映するには、**[Activate Changes]**ボタンをクリックします。 ただし、AutoLockモードでは、**[Activate Changes]**ボタンをクリックする必要がなく、**[確認]**ボタンをクリックするだけで直ちにドメインに反映されます
[再設定]	設定の変更を取り消して、設定を変更前の状態に戻します
[削除]	現在画面のすべての項目の設定を削除します。 **[削除]**ボタンはすべての設定を削除する必要がある場合にのみ表示されます

- **[Add] / [Delete]**ボタン

  情報を追加または削除する場合に使用するボタンです。

- **[install] / [deploy]**ボタン

  アプリケーションをインストールまたはデプロイする場合に使用するボタンです。

- **すべてを開く**

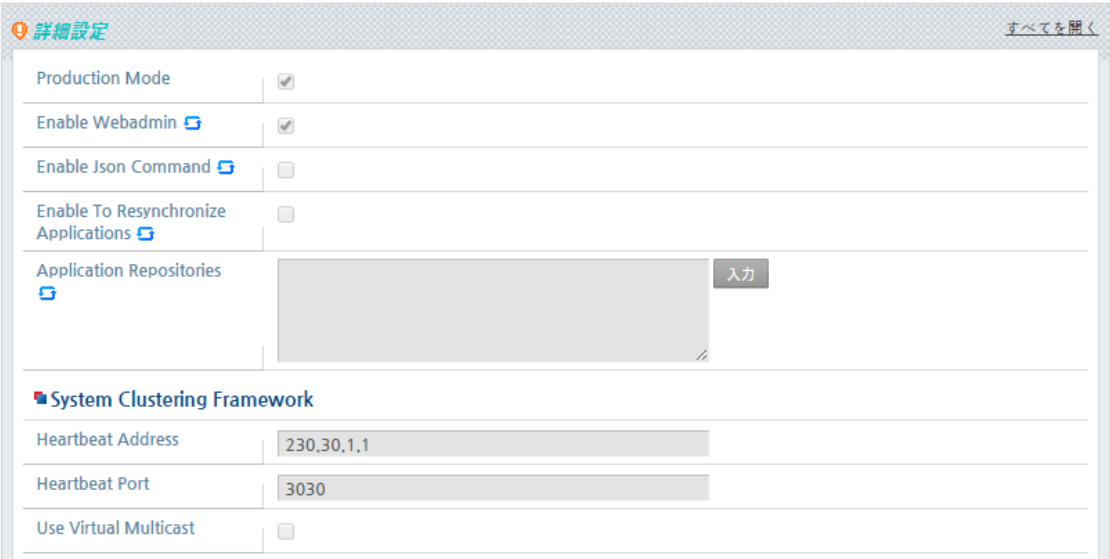
  設定画面には、基本的な設定項目の領域と**詳細設定**領域があります。

  詳細設定領域の設定項目は頻繁に使用されない項目であり、基本設定項目とは違って、設定項目の説明がデフォルトで表示されません。**[すべてを開く]**をクリックすると、各設定項目の説明が表示されます。

  [すべてを開く]をクリックすると、各項目の説明が表示され、**[すべてを開く]**ボタンは**[すべてを閉じる]**ボタンに切り替わります。**[すべてを閉じる]**をクリックすると、各項目の説明が画面に表示されなくなり、再び**[すべてを開く]**ボタンに切り替わります。

  以下は、**[すべてを開く]**をクリックする前の**詳細設定**領域の画面です。

  [図 2.32] 共通機能 - 詳細設定(1)



以下は、**[すべてを開く]**をクリックした後の**詳細設定**領域の画面です。

[図 2.33] 共通機能 - 詳細設定(2)

- **画面アイコン**

以下は、共通して使用されるアイコンの説明です。

アイコン	説明
	動的反映が可能な項目を示します
	必須設定項目を示します
	設定項目の設定例を示します
	Webエンジンを示します
	JMSエンジンを示します
	EJBエンジンを示します

2.4. 付加機能

本節では、付加機能について説明します。

2.4.1. オンライン・ヘルプ

WebAdminは、各設定画面のヘルプをオンライン・ヘルプの形式で提供します。それぞれのヘルプは、JEUSマニュアルへのリンクによって提供しています。

以下の方法で、オンライン・ヘルプ画面に移動することができます。

- メニュー領域の**運用マニュアル**のマニュアル名をクリックします。詳細は、「2.3.2. メニュー領域」を参照してください。
- メイン画面の**[オンライン・ヘルプ]**をクリックします。詳細は、「2.3. メイン画面」を参照してください。
- 各設定画面の**[ヘルプ]**ボタンをクリックします。詳細は、「2.3.3. メイン領域」を参照してください。

オンライン・ヘルプ画面では、次の機能を提供します。

- JEUSマニュアルへのリンク

  JEUSの全マニュアルがリンクされています。

- Q&A

  Q&Aをクリックすると、JEUSについて質問できるQ&Aページに移動します。

- ダウンロード

  DOWNLOADをクリックすると、JEUSのライセンスの申し込みやパッチのダウンロードができます。

以下は、オンライン・ヘルプ画面です。

[図 2.34] 付加機能 - オンライン・ヘルプ

2.4.2. コンソール

WebAdminでは、jeusadminのサブネットでDASに関連するコマンドだけ実行できるコンソール・ツールを提供します。ただし、repeat、interval、history、connectなどのjeusadminの固有機能とローカル・コマンドをサポートしないという制約があります。各コマンドについての説明は、『*JEUS リファレンスガイド*』の「4.2. jeusadmin」を参照してください。

以下は、コンソール・ツール画面に移動する方法です。

- メイン・メニューの**[Console]**をクリックします。詳細は、「2.3.2. メニュー領域」を参照してください。
- メイン画面の**[Webコンソールの実行]**をクリックします。詳細は、「2.3. メイン画面」を参照してください。

以下は、WebAdminの**コンソール・コマンド**画面です。

[図 2.35] 付加機能 - コンソール・コマンド画面

2.4.3. 設定の変更と取り消し

本節では、WebAdminで設定を変更および取り消す基本的な方法について説明します。設定の変更および取り消しは、LOCK & EDITモードでのみ可能です。

設定の変更

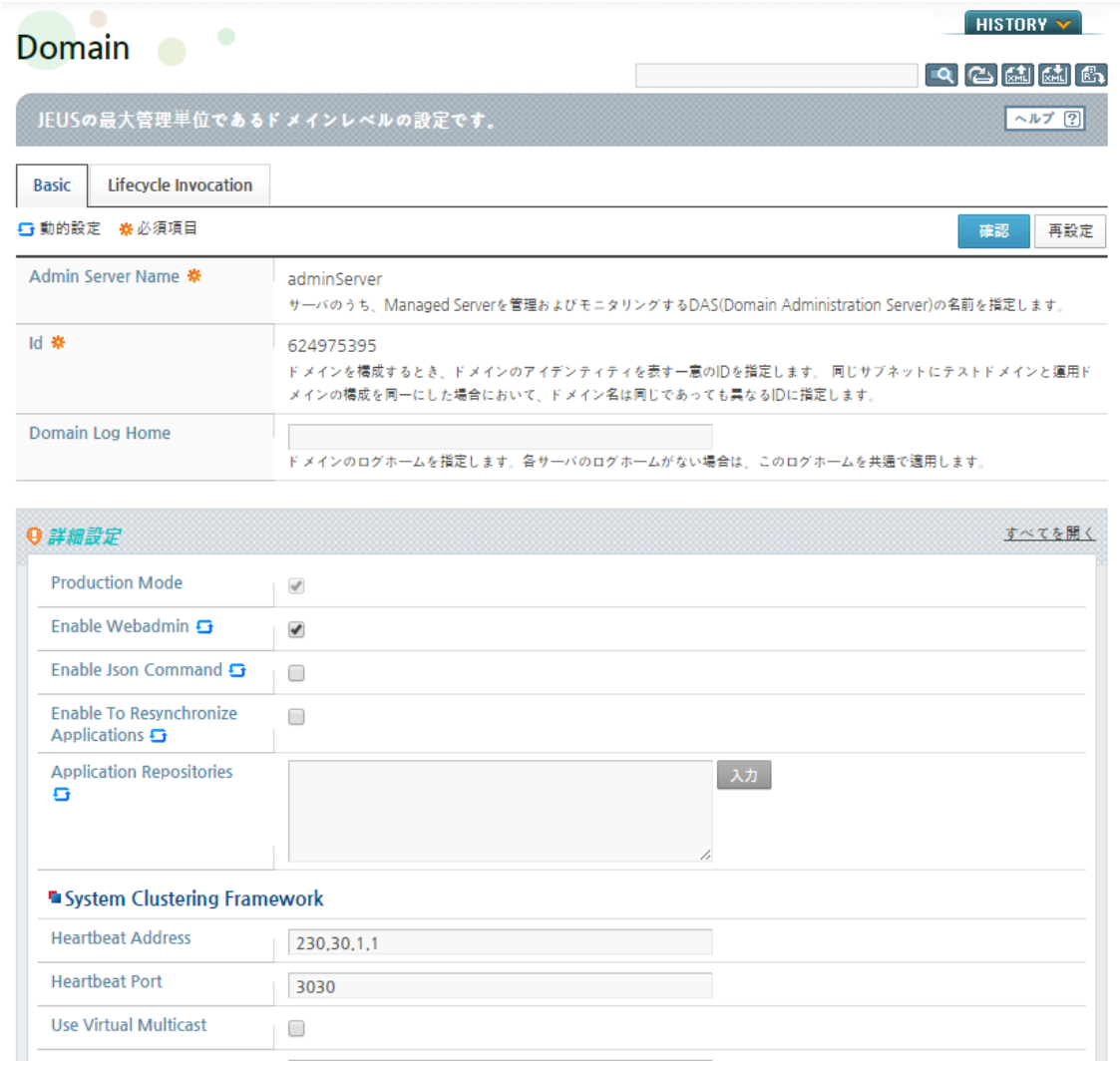
設定を変更する方法は以下のとおりです。

1. Read Onlyモードで**[LOCK & EDIT]**ボタンをクリックして、LOCK & EDITモードに切り替えます。

[図 2.36] 設定の変更 - LOCK & EDITモードへの切り替え

LOCK & EDITモードに切り替わると、メイン領域の各設定項目が以下のように有効になります。

[図 2.37] 設定の変更 - LOCK & EDITモードへの切り替えの確認



2. 設定を変更した後、**[確認]**ボタンをクリックします。以下では「**Heartbeat Port**」項目を「3030」から「3033」に変更します。

[図 2.38] 設定の変更 - 設定内容の変更

3. 設定を変更した後、変更内容をサーバーに反映するために、**[Activate Changes]**ボタンをクリックします。以下のようなポップアップ・ウィンドウが表示されたら、**[確認]**ボタンをクリックします。

「Description」を入力していない場合、以前に入力された「Description」内容がそのまま反映されます。

[図 2.39] 設定の変更 - 変更内容のサーバー反映

4. DASに設定内容の反映が完了すると、反映の結果メッセージが以下のように画面に表示されます。そして、LOCK & EDITモードからRead Onlyモードに自動でモードが切り替わります。

[図 2.40] 設定の変更 - 設定反映後の結果メッセージ

設定変更の取り消し

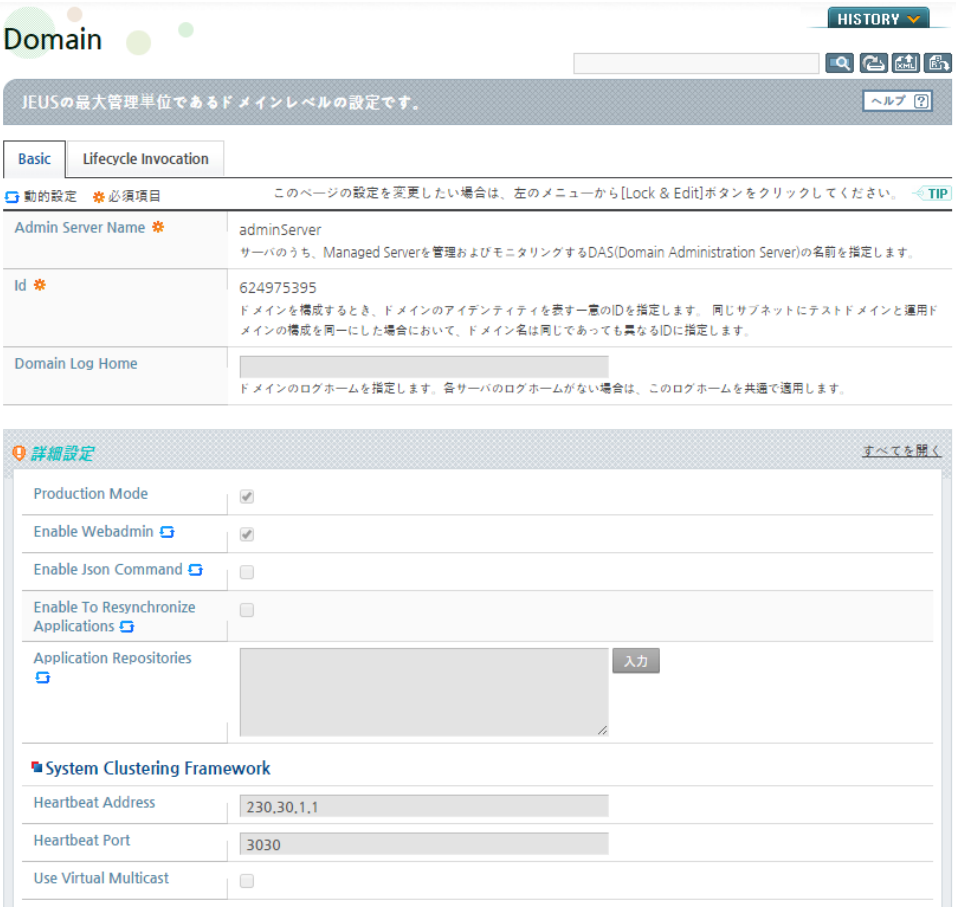
設定の変更内容を変更前に戻せます。設定の変更を取り消す方法は以下のとおりです。

1. 設定の変更内容をサーバーに反映せずに取り消すには、**[Activate Changes]**ボタンの代わりに、**[Undo All Changes]**ボタンをクリックします。以下のようなポップアップ・ウィンドウが表示されたら、**[確認]**ボタンをクリックします。

[図 2.41] 設定変更の取り消し - 変更内容の取り消し

2. 以下の画面で設定が変更前の状態に戻されたことが確認できます。以下の画面では、「3030」から「3033」に変更した「**Heartbeat Port**」項目の値が「3030」に戻されています。設定の変更が取り消された後、LOCK & EDITモードからRead Onlyモードにモードが自動で切り替わります。

[図 2.42] 設定変更の取り消し - 設定前の状態に戻す



2.4.4. ロック機能

JEUS WebAdminではロック機能を提供します。ロックはセッションではなく、ユーザー別に設定され、ロックを取得したユーザーだけが設定を変更または取り消すことができます。

ユーザーが明示的に**[Activate Changes]**ボタンをクリックして設定の変更をサーバーに反映するか、または**[Undo All Changes]**ボタンをクリックして設定の変更を取り消さない限り、ロックは継続して維持されます。そして、ロックが取り消されない限り、ユーザーはログインやログアウトに関係なく、変更作業を続けることができます。

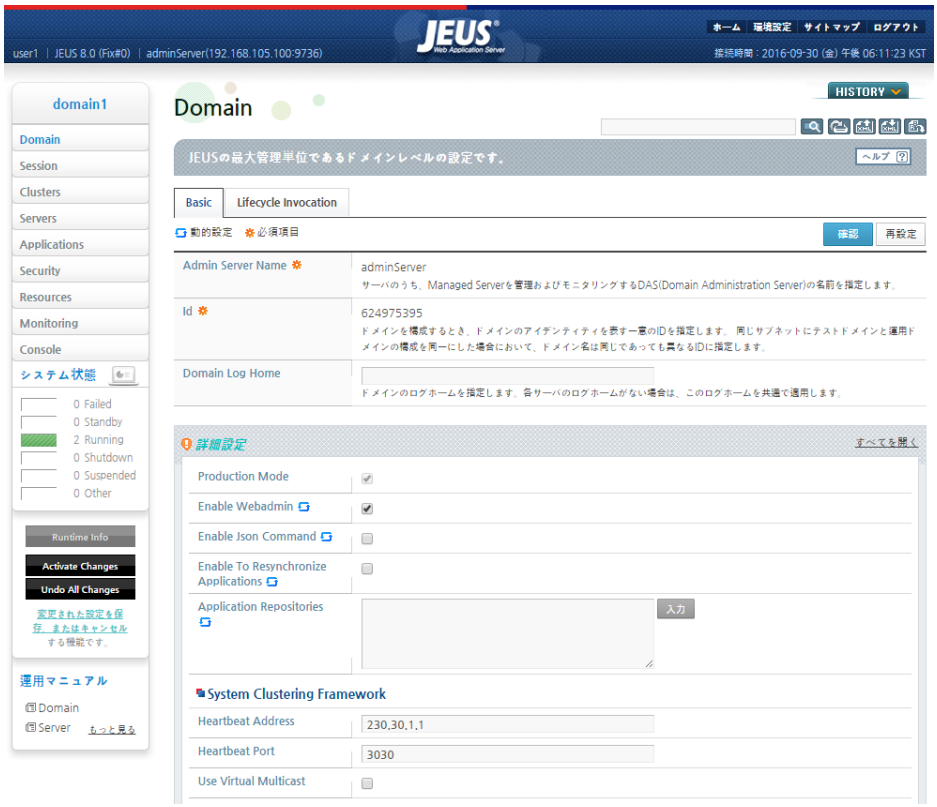
ロックの取得

ロックは任意で取り消すことができません。したがって、特定のユーザーがロックを取得して設定の変更をサーバーに反映または取り消さない場合、他のユーザーは変更作業を進めることができません。このようなデメリットを補完するために、他のユーザーが強制的にロックを取得する機能を提供しています。

以下では、強制的にロックを取得する方法について説明します。

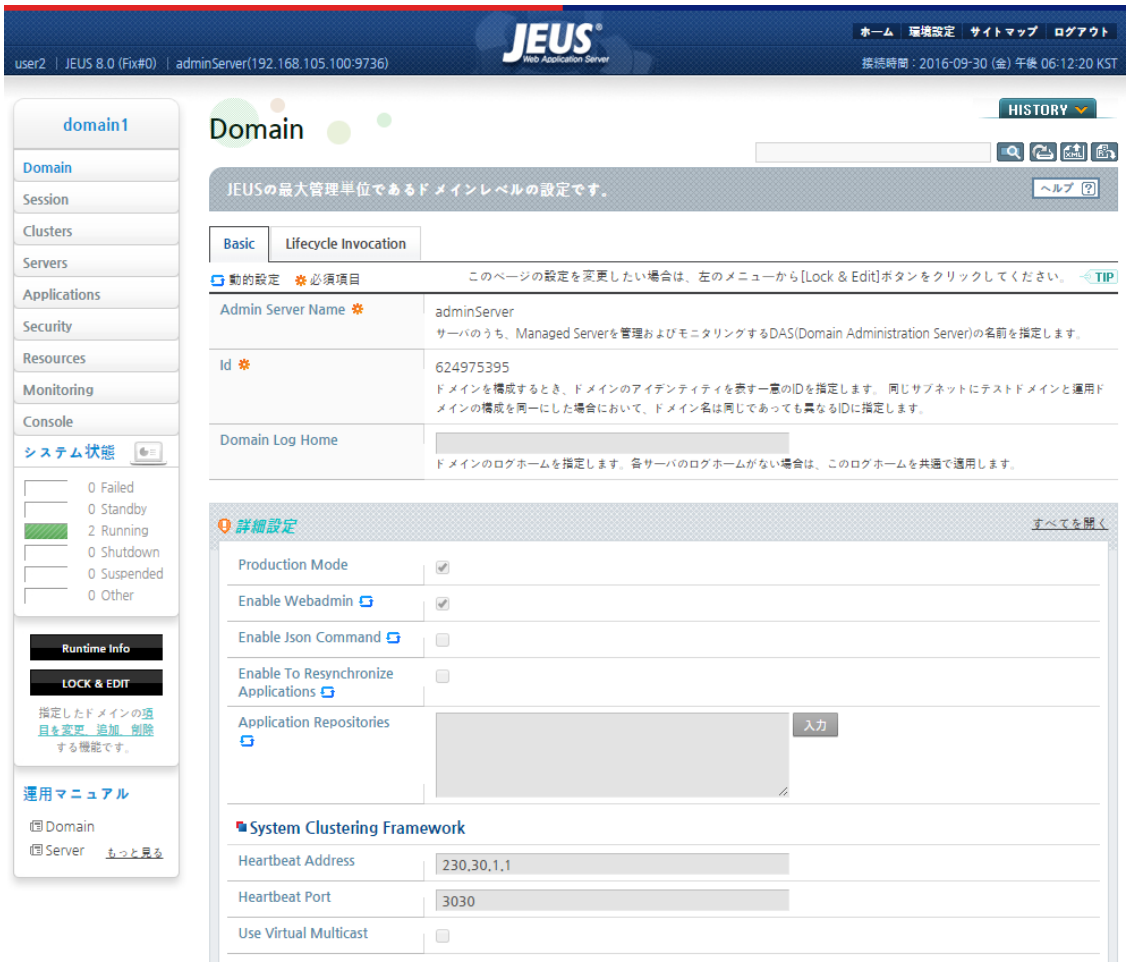
1. user1でログインした後、Read Onlyモードで**[LOCK & EDIT]**ボタンをクリックしてLOCK & EDITモードに切り替えてロックを取得します。設定の変更または取り消しを行わずに、LOCK & EDITモードを維持した状態でログアウトします。

[図 2.43] ロックの取得 - user1のLOCK & EDITモード(user1がロックを取得した状態)



2. 他のユーザーのuser2でログインします。

[図 2.44] ロックの取得 - user2のRead Onlyモード



3. user2が設定を変更または取り消すために**[LOCK & EDIT]**ボタンをクリックすると、「他のユーザーがLOCK & EDITを使用しています。」という警告メッセージが表示されます。

[図 2.45] ロックの取得 - ロックの強制設定機能

[ロックの強制設定]ボタンをクリックすると、user2はuser1のロックを強制的に取得します。

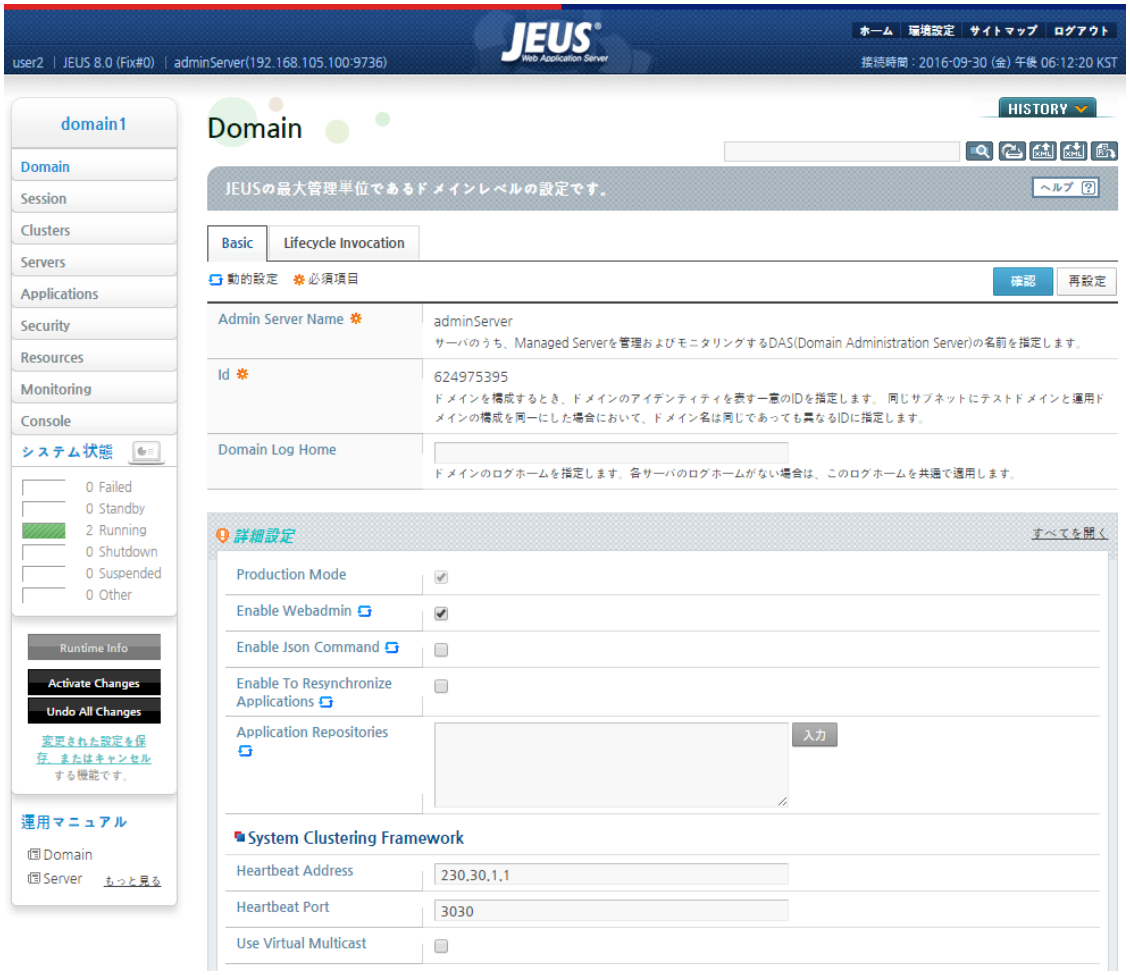
注

ロックを強制的に取得すると、ロックを保持していた既存のユーザーが編集した情報はすべて失われます。

---

4. 以下のようにメイン画面の設定項目が有効になり、user2がロックを取得してLOCK & EDITモードに切り替わったことが確認できます。

[図 2.46] ロックの取得 - user2のLOCK & EDITモード(user2がロックを取得した状態)



付録 A. サイト・マップ

WebAdminのメニュー構造は、以下のとおりです。各ページについての説明はオンライン・ヘルプを参照してください。

- Nodes
  - Node
- Domain
  - Basic
  - Lifecycle Invocation
- Session
- Clusters
  - Basic
  - Res Ref
  - Session Cluster Config
  - Jms Resource
    - Destination
    - Durable Subscriber
  - Lifecycle Invocation
- Servers
  - Basic
    - Basic Info
    - Res Ref

- Naming Server
- System Thread Pool
- System Logging
  - File Handler
  - Smtp Handler
  - Socket Handler
  - User Handler
- User Logging
  - File Handler
  - Smtp Handler
  - Socket Handler
  - User Handler
- Tm Config

– Resource

- Listener
- Jms Resource
  - Destination
  - Durable Subscriber
- Jmx Manager
- Scheduler
  - Job
- Lifecycle Invocation

        - Library Ref
        - Invocation
    - External Resource
- Engine
    - Web Engine
        - Basic
        - Jsp Engine
        - Virtual Host
            - Basic
            - Access Log
                - File Handler
                - Smtp Handler
                - Socket Handler
                - User Handler
        - Web Connections
            - Webtob Connector
            - Tmax Connector
            - Ajp13 Listener
            - Http Listener
            - Tcp Listener
        - Access Log
            - File Handler

        - Smtp Handler
        - Socket Handler
        - User Handler
      - Session Config
    - Jms Engine
      - Basic
      - Service Config
      - Connection Factory
      - Persistence Store
      - Message Sort
    - Ejb Engine
      - Basic
      - Active management
      - Timer Service
- Server Template
  - Basic
    - Basic Info
    - Res Ref
    - Naming Server
    - System Thread Pool
    - System Logging

        - File Handler
        - Smtp Handler
        - Socket Handler
        - User Handler
    - User Logging
        - File Handler
        - Smtp Handler
        - Socket Handler
        - User Handler
    - Tm Config
- Resource
    - Jms Resource
        - Destination
        - Durable Subscriber
    - Jmx Manager
    - Scheduler
        - Job
    - Lifecycle Invocation
        - Library Ref
        - Invocation
    - External Resource

- Engine
  - Web Engine
    - Basic
    - Jsp Engine
    - Virtual Host
      - Basic
      - Access Log
        - File Handler
        - Smtp Handler
        - Socket Handler
        - User Handler
    - Web Connections
      - Webtob Connector
      - Tmax Connector
      - Ajp13 Listener
      - Http Listener
      - Tcp Listener
    - Access Log
      - File Handler
      - Smtp Handler
      - Socket Handler
      - User Handler

        - Session Config

    - Jms Engine
        - Basic
        - Service Config
        - Connection Factory
        - Persistence Store
        - Message Sort

    - Ejb Engine
        - Basic
        - Active management
        - Timer Service

- Applications
    - Deployment Plans
    - Deployed Library
    - Application

- Security
    - Security Domains
        - Name
        - Cache Config
        - Key Store
        - Security Service
            - Authentication

        - Repository Service
        - Jaas Login Config
        - Custom Authentication Service
    - Authorization
        - Basic
        - Custom Authorization Service
    - Identity Assertion
    - Credential Mapping
    - Credential Verification
    - Audit
    - Subject Validation
  - Custom Service
  - Accounts & Policies Management
    - Accounts
        - Users
        - Groups
    - Policy
        - Role Permissions
        - Resource Permissions

- Resources
  - DataSource

    - Database
        - Basic
        - Connection Pool
    - Cluster Ds
  - Mail Source
  - URL Source
  - Message Bridge
    - Message Connections
    - Message Entries
  - Custom Resource
  - External Source
    - Jms Source
    - Connector
  - External Resource
  - Concurrency Utilities Resource
    - Managed Executor Service
    - Managed Scheduled Executor Service
    - Context Service
    - Managed Thread Factory
- Monitoring
  - Thread

- Transaction
- MBean
- JNDI
- Web
  - Web Statistics
  - List Session
- Servers
- JMS
  - Destinations
    - Server
    - Cluster
  - Durable Subscriptions
  - JMS Clients
  - JMS Pending Transactions
- Connection Pool
- EJB Timer
- System Info
- Server Log
- Statistic
- Patch Info
  - Node
  - Server

- Console

索引

C

Console, 32

あ

オンライン・ヘルプ, 31

か

環境設定
- Auto Lock, 10
- Conceal Password, 10
- Configuration Change Detail, 10
- Delete Reference, 10
- Description, 10
- Locale, 10
- Page Search Cache, 10
- Schema Validation, 10
- Server Group Type, 10
- Server Groups, 10
- Table Sort, 10

共通機能
- Addボタン, 29
- Deleteボタン, 29
- Deployボタン, 29
- Export Domain, 26
- History, 25
- Import Domain, 26
- Installボタン, 29
- Runtime Info, 26
- Search, 26
- Show Backup Configuration, 26
- 確認, 28
- 画面アイコン, 30
- 再設定, 28
- 削除, 28
- すべてを開く, 29
- ヘルプ, 28

さ

設定の変更, 33

設定変更の取り消し, 37

設定モード
- LOCK & EDITモード, 17
- Read Onlyモード, 14
- Runtime Infoモード, 16

は

ヘッダー領域, 9
- 環境設定, 9
- サイトマップ, 11
- ホーム, 9
- ユーザー情報, 11
- ログアウト, 11

ま

メイン領域, 20
- Resource Manager, 22
- Webコンソールの実行, 24
- オンライン・ヘルプ, 24
- 共通機能, 25
- システム状態, 21
- ドメイン基本情報の設定, 23
- ノード設定, 24
- モニタリング, 24

メニュー領域, 12
- 運用マニュアル, 19
- システム状態, 14
- メイン・メニュー, 13
- モード変更, 14

ら

ロックの取得, 38